

十 先週の献金報告 十

十分の一 : 모리카와치에 박새롬, 飯窪和城・淑恵

主日献金 : 42,400

感謝献金 : 이인직, 익명(2명)

宣教献金 : 飯窪和城・淑恵, 이인직

建築献金 :

月/日	礼拝祈禱者	献金奉仕	今月の予定
12/3	權奇周/ 奈良橋暁子	礼拝祈禱者	家庭訪問
12/10	申鉉珪/ 飯窪和城	礼拝祈禱者	//
12/17	全星培/ 鈴木睦子	礼拝祈禱者	//
12/24	김란희/ 飯窪淑恵	礼拝祈禱者	クリスマス礼拝
12/31	박경선 /北川イズキ	礼拝祈禱者	送旧迎新礼拝(ZOOM)

(教会論に基づいた牧会哲学)

- ① 教会の主人は、つくりぬし(創造主)であります。
- ② 教会の模範は、イエス・キリストであります。
- ③ 教会の働き手の主体は、聖霊であります。

- ※ ビジョン : 主の約束を信じ行動する「小さなキリスト」
- ※ 使命 : 礼拝(真の礼拝者)、教育(養育と訓練)、宣教(皆が宣教師)
- ※ 価値 : つくりぬしの国とその義

〒162-0842 新宿区市谷砂土原町1-2-59 ☎03-3269-6007

担任牧師 裴 明德

元老牧師 金 基哲 協力宣教師 李 仁職

(동경기독교회는 기독교대한성결교회 소속입니다.)



since 1927

2023年 12月 17日

정기 예배 안내(定期集會の案内)

※ 主日礼拝 : 한국어예배(11시,교회당 3층), 日本語礼拝(13時,教会堂 1階)
교회당에 도착하면, 휴대 제품의 Wi-Fi 기능을 꺼 주세요(Wi-Fi Off).

※ ZOOMでのオンライン礼拝(パスコード: tcc1927)
수요저녁예배 (한국어, ID: 787 1700 3527, 19:20~)
木曜早天礼拝 (日本語, ID: 788 2787 7311, 05:50~)

今週の本文(금주의 본문) : サムエル記下13章 (삼하13장)

- 1) 本文を2~3回読む(본문을 2~3회 읽는다)。
- 2) 記憶に残るところを書いて置きます(기억에 남는 곳을 메모한다)。
- 3) 個々人が本文を読みお祈りください。

※ 聖書の御言葉と共に生きる. 성경 말씀과 함께 합니다.

- 1) 1年に一読. 1년에 일독 합니다.
- 2) 主日の説教をもう一回聴く. 주일 설교를 주 중에 다시 듣습니다.

2023年の重点事項

- 1) 宗教学人格を取得し感謝礼拝を捧げる。
- 2) 教会堂を宣教の道具として積極的に活用する。
- 3) 迎える創立100周年を準備する。



東京基督教会
TOKYO CHRIST CHURCH

1部 한국어예배 (3층,11時) 2部 日本語礼拝 (1階、13時)

司会：裴明德牧師

「WELCOME」

- 신앙 고백 | 信仰の告白 一同
- 경배 찬송 | 主を崇め讃え 一同

죄에서 자유를 얻게 함은
 주의 이름 높이며, 먼저 그 나라와 의를 구하라
 그가 오신 이유
 神の国とその義を、罪重荷を除くは、その愛。

합심 기도 | 一齊の祈り

(기도의 중심은 나의 죄를 고백하고, 타인을 용서하는 것입니다.)
 祈禱の中心は、自分の罪を告白し、他人を赦すことです)

예배 기도 | 礼拝の祈禱 (換氣) 全星培按手執事/ 鈴木睦子執事

교회 소식 | 共同体の交わり

성경 봉독 | 聖書朗讀 계(黙示録) 22 : 20 司会者
 설 교 | 메ッセージ 裴明德牧師

오실 예수
来られるイエス

봉헌및기도 | 捧獻&祈禱 奏樂 一同

- 파송 찬송 | 派遣の賛美 1. 은혜 2. 恵み 一同
- 축복 기도 | 祝福の祈り 裴明德牧師

— 閉会 —

1. 皆を主のみ名により祝福します。
 インフルエンザ&コロナ感染などにご注意ください。오늘 함께 하신 모든 분들을 주님의 이름으로 축복합니다.
2. 2023年の待降節(대강절) : 12月3日~12月24日。
3. 来週はクリスマス感謝礼拝を捧げます(24日)。 家族そろって礼拝に参加しましょう。
 - 1) 1部・2部合同。11時~12時50分。(オンラインは12時まで)。
 - 2) 聖礼典もあります。
 - 3) 祝賀会 : 家族または機関などの感謝の賛美及び映像。 裴幹事にお申し込みください。
 - 4) 捧げられたクリスマス献金は、全額を外部の救済に使います。
 - 5) 食事後、教会堂の大掃除もあります(14時~16時)。
4. 来年1月7日より、日本語部の礼拝も3階の礼拝堂で捧げます(13時)。
5. 今週の家訪問は、1区域です。ご協力とお祈りをお願いいたします。
6. お祈りください。
 - 1) クリスマス礼拝と送旧迎新礼拝のために。
 - 2) 2024年新年のために。
 - 3) 全ての教会員が感謝と喜びに満ちるように。